

PTA 会 報

柏 葉

令和元年 9 月 30 日

第 107 号

富山県立富山西高等学校
PTA

対面式

「親子の時間を大切に」

PTA会長 曾我 大輔

今年度PTA会長になりました曾我大輔です。初めての経験なので緊張とプレッシャーを感じていますが、いつも仲間の温かい言葉やサポートに励まされ、半年を無事終えることができました。前年度会長の竹島さんは、常に人と人とのコミュニケーションをとる大切にし、みんなが協力してPTA活動を負担なくできるよう新しい役割分担を構築するなど、熱意あふれる活動をされてきました。その功績を引き継いでこれからも役員一丸となって、精一杯頑張っていきます。支えてくれる周りの人や、ちょっとした出来事にも感謝の気持ちを表し、いつも笑顔あふれるPTA活動をしていきたいと思っています。

令和の時代を迎え、新たな目標や願いを持って新しい時代をスタートさせた人も多いのではないのでしょうか。昭和生まれの私は、平成、令和と三つの時代を生きていることになるのですが、時代の流れの速さとても感じます。自分の学生時代を振り返ってみても、特に高校の三年間はあっという間に過ぎ去った気がします。高校生活は、親元で暮らすのが最後である人、学生最後の三年間という人など様々ですが、親と子として一緒に過ごす貴重な時間です。また将来の夢や希望について考え、それぞれの進む道を模索する大切な時期でもあります。日常生活の中で、これは明日にしようとか後回しにしたり、決めたことが三日坊主になったり、ということがあると思います。しかし、『今』という時間は戻ってこない、一日一日を大切に過ごさなければと改めて思います。PTA活動を通じて少しでも多くの方に親と子の触れ合う時間を楽しんでももらいたいと思います。

最後になりますが周りのみなさんとのつながりを大切に、先生方やPTA会員の皆様のご協力のもと活動していきます。今後とも保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



第44回 体育大会

雨過天晴 6/12



3年生にとっては最後の体育大会だったのに天候に泣かれ、雨雲がどどん押し迫るなか100m走のみ何とかグラウンドで競技できました。他の競技で挽回しよう、競い合おうと張り切っていた生徒の皆さんは相当残りだったろうと思います。でも、場所を変え午後からになった体育館での応援合戦を前に各団がてきぱきと練習する姿、本番でも限られたスペースのなかで精一杯披露している姿を見られて感激しました。披露する側、見る側にとっても、互いに向かい合いながらの応援合戦もそうあることではないだろうと思います。また、この日の為に各団が工夫を凝らし作り上げた迫力や立体感あるデコレーションもとても素晴らしかったです。

3年生保護者 清水 博美



体育大会当日、朝は晴れ間の見えた空でしたが、一競技目の100m走の途中から強い雨が降り出しました。皆テントの中に入って雨が止むのを待ちましたが、雨は一向に止みません。願いは虚しく、以降の競技は中止となりました。私は、とても残念でなりませんでした。私には、きつとそれ以上に生徒の皆さんの思いの方が強かったのではないのでしょうか。しかし、体育館で行われた各団の応援合戦は、いつも練習していたグラウンドでは無いうえに、たつた一度のリハーサルを行った



だけでしたが、綺麗に整ったフォーメーションでした。そして、団全員のまとまった歌やパフォーマンスは圧巻の演技でした。とても感動しました。競技はできなかったけれど、これもきつと良い思い出となって、心に残るのではないのでしょうか。

教職員の方々のご協力のもと、無事に体育大会を終えられた事に感謝致します。

2年生保護者 深谷 香織



★体育大会結果★

	競技の部	応援の部	デコレーションの部
優勝	青龍団	黄麟団	白虎団
次勝	黄麟団	青龍団	青龍団

夏のさわやか運動

6/5
6/7

今年のあいさつ運動には体育大会の応援リーダーも加わり、生徒会執行部、風紀委員、PTA、先生方と速星駅前や本校生徒玄関前、速星小学校で朝のあいさつが交わされました。

私自身は、あいさつが全てにおいて基本中の基本と思っていたのですが、なかなか「大きく元気に誰にでも」とはいかないのが現状でした。そして、「今どきの高校生はどうなのだろう？」と不安でした。実際は、声が小さい子もいましたが、ほぼ全員があいさつをしてくれて、朝からとってもいい気分になりました。

あいさつは、この時だけでなく、恥ずかしがらずにどんどんしましょう！



今回は暑い日、雨の日と大変でしたが、とても良い機会となり、昨年、今年と続けて参加することができて良かったです。

さわやかなあいさつ、心がけたいですね。

生活指導委員長

樋口恵美子

富山市PTA指導者研修会

6/27

研修会では、八尾高校PTAによる活動内容、特色についての発表を見ました。

八尾高校では、「おわら」を通して地域の方々と交流を持ち関わりながら古くからの伝統を大切に若い世代につなげていく活動をしています。

八尾町の小中学校では運動会におわらを踊る所が多くあります。八尾高校も体育大会で、おわらを踊ります。

おわらはとても難しい踊りです。踊れるようになるには、地域の方々のご指導がなくてはとても踊れません。私自身、八尾に嫁いで17年以上が経ちますが、未だにうまく踊れません。

少子化と言われている中、全国、世界に誇れるものがあるのとはとてもよいことです。

いつまでもこの活動が続くよう大事にしていってほしいものです。

2年生保護者 西島 佳織



第48回富山県社会教育大会

7/20

今年度は9名の方が社会教育功労者の表彰を受けられました。

富山大学教授・藤田公仁子先生の講演では、社会教育に関する地域との連携、更にその関わりからの学びの大切さのお話を伺いました。公民館・図書館・博物館等の社会教育施設は、地域の学び所です。個人の学びから、学び場のコミュニケーションが生まれ、情報の共有、そこから地域の課題やその課題の解決、また新たな課題へと、螺旋階段の様に、学びを積み重ねていく事で、更に地域の活性化になるという事でした。

また、富山県視聴覚教育協議会と小杉爆笑劇団の実践発表がありました。

富山県視聴覚教育協議会では、上映権付きDVDの貸し出しを行っているそうです。地域の行事など、営利目的の無いDVD映像鑑賞会に無料で利用できます。

小杉爆笑劇団は認知症高齢者の施設職員による劇団です。患者家族の戸惑いやストレスの解消に、また、認知症の理解を深めるため、寸劇を始められたそうです。笑う門には福来たるお話でした。楽しかったです。

2年生保護者 佐々木和加子



北信越高P連大会

7/4
～
7/5

今年の北信越高P連大会は、長野県で行われました。

各高校のPTA活動を聞いた中で、福井県羽水高校の発表が印象に残りました。福井県は人口流出が問題になっており、特に大学が少ないので高校卒業と同時に県外へ出てしまうことが多いそうです。そこで羽水高校では、生徒が将来地元に戻って来ることを期待して全校強歩大会を行い郷土の自然を歩き、心に証を残して郷土愛を深めよ



うという行事があります。PTAでは給水場所で生徒に励ましの声をかけながら水分補給と保護者からの愛を受け取ってもらう活動をしています。また、卒業生から在校生へ、なぜその進路を選んだのか等のアドバイスを聞かせてもらう座談会があるそうです。

最後に、私がこの大会で最も感銘を受けた言葉を紹介します。

保護者は「自分の子どもを見守る役割」、PTA活動は「学校の子どもたちを見守る役目」、子育ては「あなたが生きた証を未来に生きる人たちの心に刻み込む仕事」。(将来子どもが親になれば、両親のPTA活動の内容にも気付いてくれると思います。)私は全く思っていなかった言葉でした。

PTA副会長 清水泰樹



全国高P連大会

8/22
～
8/23

「Kyoから！未来を拓く」受け継ぎ、創る新たなストーリー」をテーマに第69回全国高等学校PTA連合会大会が京都府で開催されました。本校からは關口校長、曾我PTA会長、私の3名が参加しました。

大会第1日目には、第1分科会「よくできる」とはどういうことか？」大学は、自分の可能性を見つける場である。」をテーマに京都大学名誉教授

永田和宏氏の講演を聞きました。生徒達がこれからの社会を生きていくにあたり、一人ひとりが学び合い、自らの知識を深め、自尊心や自分の可能性を伸ばすためには、高校で、家庭で、そして大学で何をどう学んでいくことが大切であるのかについての講演でした。

大会第2日目には、「学校教育・家庭教育に思うこと」をテーマに、日本電産株式会社 代表取締役会長 永守重信氏の講演会に参加しました。今大会は今までと違い、講演がメインの大会でした。いろいろなお話が聞けて大変勉強になりましたので、今後のPTA活動にも活かしていきたいと思っています。

PTA副会長 勇伊 喜正



◆◆令和元年度「柏葉」編集委員◆◆

委員長 西島 佳織

山川 身江
入江美由紀
佐々木和加子
井澤 健

清水 博美
金田由美子
伊藤亜佐里
高尾 正依

平井 静香
深谷 香織
加藤 由美
岸 智子

竹内香奈子
藤田 照美
坪川 洋子

よろしくお願いします！